

この冊子を参考に
「よりよい授業準備」を！

新しい授業のための 『中学社会』 教科書ガイドブック



京都市立西賀茂中学校校長
京都市立洛北中学校教頭

上畑 直久
三間 英孝

京都市立久世中学校教諭
宮崎第一中学校・高等学校講師

弘田 真基
猪野 滋

「単元を貫く問いを設定する」 「生徒自ら問いを立てる」

といった単元ごとの授業を
どのようにすればよいのか、
困っていませんか？

このガイドブックは、先生方に単元ごとの授業をつくっていただくことを目的に作成しました。「単元を貫く問い」を設定したり、それを基に問いを追究する授業を展開したりするのは、準備に時間がかかります。そこで、単元を貫く問いを設定する授業を構想するステップをご提案するとともに、教科書や指導書を基に授業をつくる手順を確認します。この冊子の目標は「よりよい授業準備」です。

単元を貫く問いを設定する授業を構想するステップ

- 1 単元ごとに目標（何ができればよいのか）を設定し、評価したいこととその方法を決める。**
参照するもの 指導書/まとめ・ふり返りページの**本時の目標**など
指導書/単元の**目標 評価規準**
- 2 単元ごとに、目標を達成するために何を学ぶのか（何で学ぶのか）を概観し、単元を貫く問いを設定する。また、問いに対するB基準の解答例を準備する。**
参照するもの 教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/導入ページの**デジタルコンテンツ**
イントロダクションムービー ポートフォリオ
指導書/導入ページの**本時の展開 編・章・節の問いを立てるにあたっての手立て**
- 3 単元ごとに、「単元の学習を見通す（導入ページ）」「単元を意識し、問いに迫る（本文ページ）」「自分の言葉でまとめ、単元をふり返る（まとめ・ふり返りページ）」の学習のプロセスをつくる。**
参照するもの 指導書/単元の **「問いの構造図」** の例
教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/**ポートフォリオ**
- 4 単元を構成する「各時間の授業の展開」について、教科書（デジタル教科書）で構想する。**
参照するもの 指導書/各時間の**学習課題 本時の展開 解答例・手立て**
教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/各時間の**デジタルコンテンツ**

日文の Web サイト

日文 🔍



単元を貫く問いを設定する授業を構想するステップ

1 単元ごとに目標(何ができればよいのか)を設定し、評価したいこととその方法を定める。

参照するもの 指導書/まとめ・ふり返りページの本時の目標など
単元の目標 評価規準

公民
的分野



公民・歴史を例に、授業を構想するステップをご提案します。

1 **本時の目標**

- 第2編第1章の問いについて、民主主義、個人の尊重と法の支配などの見方・考え方を働かせながら考察を行い、表現する。
- 単元の導入に立てた見通しをふまえて学習をふり返り、自分の変化や今後に生かしていきたいことをまとめる。

▲指導書 公民 学習指導編 P.180 第2編第1章「まとめとふり返り」

▲教科書 公民 P.80~81 第2編第1章「まとめとふり返り」

ポイント 単元で何ができればよいのか、最初に子どもたちへ示すことで、学びの見通しを共有します。そのため、**単元目標を基に評価規準を設定し、学習活動と評価方法を決めず、ゴールは、単元を貫く問いについて考えを述べる**ことです。

第2編 私たちの生活と政治 学習指導要領の内容：C
第1章 個人の尊重と日本国憲法 学習指導要領の内容：C(1)

第2編第1章の目標

○人間の尊重についての考え方や法の意義、法に基づく政治及び日本国憲法の基本的原則などについて理解する。
○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味について多面的・多角的に考察する力、思考・判断することを養う力を持つ。

○個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
【第2編第1章の問い】 私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

知識・技能
○人間の尊重についての考え方を、基本的な人権を中心に深く、法の意義を理解している。
○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。
○日本国憲法が基本的人権の尊重、民主主義及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。
○日本及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。

思考・判断・表現
○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味について多面的・多角的に考察し、表現している。

主体的に学習に取り組む態度
○個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

▲指導書 公民 学習指導編 P.39 学習指導計画作成資料

観念ごとに活動を整理
まとめ・ふり返りページでは、[知識・技能]「思考・判断・表現」[主体的に学習に取り組む態度]それぞれ評価の観点に沿って活動を整理しています。

教科書の「まとめ・ふり返りページ」と指導書の単元の「目標」「評価規準」を読み比べましょう。事前に評価方法(ペーパーテスト、ポートフォリオ、発表など)を子どもたちへ示すことで、学びの見通し【評価計画】、学習方法について、子どもたちが自分自身で決定できる環境を整えます。

2 単元ごとに、目標を達成するために何を学ぶのか(何で学ぶのか)を概観し、単元を貫く問いを設定する。また、問いに対するB基準の解答例を準備する。

参照するもの 教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/導入ページのデジタルコンテンツ インタラクティブムービー ポートフォリオ 指導書/導入ページの本時の展開 編・章・節の問いを立てるにあたっての手立て

公民
的分野

ポイント 子どもたちは、教科書の導入ページを見て、これまでに学んだことを使いながら気づいたことを出し合います。そして、既習の見方・考え方(対立と合意、効率と公正など)を使って、身近な場面に対する疑問を出し合い、学習内容に関する単元を貫く問いを立てます。先生が子どもたちの中から出てきた疑問を一緒に「問い」の形にすることで、問いを追究しようとする意欲を引き出します。

1 **気づいたことを出し合う**

Q1. まんがのなかから、民主主義や人権とかかわると思う内容を出し合います。また、どのようにかわる理由を考えましょう。

Q2. 話し合いがなければ、学級会の時間は短くできました。時間がかかって、みんなの意見を聞くのはなぜでしょうか。

みんなで話し合うのは、対立から合意を導くための大切な方法だったね。

先生や学級委員長の意見というだけを出しものを決めるのは、私も変だと思よ。

8コマ目の生徒が言おうとしていた意見は何だったのかな?

▲デジタルコンテンツ 公民 P.38「文化祭の出し物を決めよう！」

▲教科書 公民 P.38 第2編第1章「学習のはじめに」

2 **章の問いを立てるにあたっての手立て**

第2編第1章は学習指導要領「C 私たちと政治」の内「(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本原則」に対応する。この中項目は、日本国憲法の基本的な考え方と日本の政治が日本国憲法に基づいている意義について理解を深めることが求められる。またその際に設ける問いの例として「人間の尊重とはどういうことか、それはどのような方法で実現できるのか」、「なぜ法に基づいて政治がおこなわれることが大切なのか」が示されている。

本教科書では、これらをふまえた上で、章の問いでは、日本国憲法が政治に果たす役割を問うものである。章の問いを立てるにあたって、「なぜ憲法が」

▲教科書 公民 P.39 第2編第1章「学習のはじめに」
※教科書で提示している単元を貫く問いの例です。

▲デジタルコンテンツ 公民 「インタラクティブムービー(第2編第1章第1節)」

▲デジタルコンテンツ 公民 「ポートフォリオ(第2編第1章第1節)」

3 単元ごとに、「単元の学習を見通す(導入ページ)」「単元を意識し、問いに迫る(本文ページ)」「自分の言葉でまとめ、単元をふり返る(まとめ・ふり返りページ)」の学習のプロセスをつくる。

参照するもの 指導書/単元の「問いの構造図」の例 教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/ポートフォリオ

歴史
的分野

第5編第1章 日本の近代化

第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き

第5節の問い 長崎改正、日清・日露戦争は、日本にどのような影響をもたらしたのでしょうか。

1 列強の動向とアジア

2 戦争をめぐる対立

3 第5節の問いに答えよう

4 第5節の問いを振り返る

5 第5節の問いを振り返る

6 第5節の問いを振り返る

7 第5節の問いを振り返る

8 第5節の問いを振り返る

9 第5節の問いを振り返る

10 第5節の問いを振り返る

11 第5節の問いを振り返る

12 第5節の問いを振り返る

13 第5節の問いを振り返る

14 第5節の問いを振り返る

15 第5節の問いを振り返る

16 第5節の問いを振り返る

17 第5節の問いを振り返る

18 第5節の問いを振り返る

19 第5節の問いを振り返る

20 第5節の問いを振り返る

21 第5節の問いを振り返る

22 第5節の問いを振り返る

23 第5節の問いを振り返る

24 第5節の問いを振り返る

25 第5節の問いを振り返る

26 第5節の問いを振り返る

27 第5節の問いを振り返る

28 第5節の問いを振り返る

29 第5節の問いを振り返る

30 第5節の問いを振り返る

31 第5節の問いを振り返る

32 第5節の問いを振り返る

33 第5節の問いを振り返る

34 第5節の問いを振り返る

35 第5節の問いを振り返る

36 第5節の問いを振り返る

37 第5節の問いを振り返る

38 第5節の問いを振り返る

39 第5節の問いを振り返る

40 第5節の問いを振り返る

41 第5節の問いを振り返る

42 第5節の問いを振り返る

43 第5節の問いを振り返る

44 第5節の問いを振り返る

45 第5節の問いを振り返る

46 第5節の問いを振り返る

47 第5節の問いを振り返る

48 第5節の問いを振り返る

49 第5節の問いを振り返る

50 第5節の問いを振り返る

51 第5節の問いを振り返る

52 第5節の問いを振り返る

53 第5節の問いを振り返る

54 第5節の問いを振り返る

55 第5節の問いを振り返る

56 第5節の問いを振り返る

57 第5節の問いを振り返る

58 第5節の問いを振り返る

59 第5節の問いを振り返る

60 第5節の問いを振り返る

61 第5節の問いを振り返る

62 第5節の問いを振り返る

63 第5節の問いを振り返る

64 第5節の問いを振り返る

65 第5節の問いを振り返る

66 第5節の問いを振り返る

67 第5節の問いを振り返る

68 第5節の問いを振り返る

69 第5節の問いを振り返る

70 第5節の問いを振り返る

71 第5節の問いを振り返る

72 第5節の問いを振り返る

73 第5節の問いを振り返る

74 第5節の問いを振り返る

75 第5節の問いを振り返る

76 第5節の問いを振り返る

77 第5節の問いを振り返る

78 第5節の問いを振り返る

79 第5節の問いを振り返る

80 第5節の問いを振り返る

81 第5節の問いを振り返る

82 第5節の問いを振り返る

83 第5節の問いを振り返る

84 第5節の問いを振り返る

85 第5節の問いを振り返る

86 第5節の問いを振り返る

87 第5節の問いを振り返る

88 第5節の問いを振り返る

89 第5節の問いを振り返る

90 第5節の問いを振り返る

91 第5節の問いを振り返る

92 第5節の問いを振り返る

93 第5節の問いを振り返る

94 第5節の問いを振り返る

95 第5節の問いを振り返る

96 第5節の問いを振り返る

97 第5節の問いを振り返る

98 第5節の問いを振り返る

99 第5節の問いを振り返る

100 第5節の問いを振り返る

▲教科書 歴史 問いの構造・単元構造(第5編第1章)
※各単元の「問いの構造図」の例は指導書 学習指導編に掲載しています。

▲デジタルコンテンツ 歴史「ポートフォリオ(第5編第1章)」

1 **単元を貫く問いを立てる**

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」(編(章)の問い)や「節の問い」を立てます。

2 **学習課題を追究する**

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」[表現]の問いに答えます。

3 **単元を貫く問いを解決し、ふり返る**

学んだことをまとめ、「節の問い」について考えたことを手掛かりに「編(章)の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。

4 **まとめ・ふり返りページ**

ここが単元の学習のゴールです。

ポイント 問いの構造を理解し、ポートフォリオを活用して、節の問いについて、自分の考えを積み重ねていくよう指導しましょう。そのために、B基準の解答例を準備したら、必要なキーワードをどのように使って書けばよいのか、見方・考え方をどのように使えばよいのか、示せるようにおきましょう。ポートフォリオには、簡単でいいのでコメントを書いてあげてください。

第5編第1章 日本国憲法

第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き

第5節の問い 長崎改正、日清・日露戦争は、日本にどのような影響をもたらしたのでしょうか。

1 列強の動向とアジア

2 戦争をめぐる対立

3 第5節の問いに答えよう

4 第5節の問いを振り返る

5 第5節の問いを振り返る

6 第5節の問いを振り返る

7 第5節の問いを振り返る

8 第5節の問いを振り返る

9 第5節の問いを振り返る

10 第5節の問いを振り返る

11 第5節の問いを振り返る

12 第5節の問いを振り返る

13 第5節の問いを振り返る

14 第5節の問いを振り返る

15 第5節の問いを振り返る

16 第5節の問いを振り返る

17 第5節の問いを振り返る

18 第5節の問いを振り返る

19 第5節の問いを振り返る

20 第5節の問いを振り返る

21 第5節の問いを振り返る

22 第5節の問いを振り返る

23 第5節の問いを振り返る

24 第5節の問いを振り返る

25 第5節の問いを振り返る

26 第5節の問いを振り返る

27 第5節の問いを振り返る

28 第5節の問いを振り返る

29 第5節の問いを振り返る

30 第5節の問いを振り返る

31 第5節の問いを振り返る

32 第5節の問いを振り返る

33 第5節の問いを振り返る

34 第5節の問いを振り返る

35 第5節の問いを振り返る

36 第5節の問いを振り返る

37 第5節の問いを振り返る

38 第5節の問いを振り返る

39 第5節の問いを振り返る

40 第5節の問いを振り返る

41 第5節の問いを振り返る

42 第5節の問いを振り返る

43 第5節の問いを振り返る

44 第5節の問いを振り返る

45 第5節の問いを振り返る

46 第5節の問いを振り返る

47 第5節の問いを振り返る

48 第5節の問いを振り返る

49 第5節の問いを振り返る

50 第5節の問いを振り返る

51 第5節の問いを振り返る

52 第5節の問いを振り返る

53 第5節の問いを振り返る

54 第5節の問いを振り返る

55 第5節の問いを振り返る

56 第5節の問いを振り返る

57 第5節の問いを振り返る

58 第5節の問いを振り返る

59 第5節の問いを振り返る

60 第5節の問いを振り返る

61 第5節の問いを振り返る

62 第5節の問いを振り返る

63 第5節の問いを振り返る

64 第5節の問いを振り返る

65 第5節の問いを振り返る

66 第5節の問いを振り返る

67 第5節の問いを振り返る

68 第5節の問いを振り返る

69 第5節の問いを振り返る

70 第5節の問いを振り返る

71 第5節の問いを振り返る

72 第5節の問いを振り返る

73 第5節の問いを振り返る

74 第5節の問いを振り返る

75 第5節の問いを振り返る

76 第5節の問いを振り返る

77 第5節の問いを振り返る

78 第5節の問いを振り返る

79 第5節の問いを振り返る

80 第5節の問いを振り返る

81 第5節の問いを振り返る

82 第5節の問いを振り返る

83 第5節の問いを振り返る

84 第5節の問いを振り返る

85 第5節の問いを振り返る

86 第5節の問いを振り返る

87 第5節の問いを振り返る

88 第5節の問いを振り返る

89 第5節の問いを振り返る

90 第5節の問いを振り返る

91 第5節の問いを振り返る

92 第5節の問いを振り返る

93 第5節の問いを振り返る

94 第5節の問いを振り返る

95 第5節の問いを振り返る

96 第5節の問いを振り返る

97 第5節の問いを振り返る

98 第5節の問いを振り返る

99 第5節の問いを振り返る

100 第5節の問いを振り返る

4 単元を構成する「各時間の授業の展開」について、教科書(デジタル教科書)で構想する。

参照するもの 指導書/各時間の学習課題 本時の展開 解答例・手立て 教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書/各時間のデジタルコンテンツ

歴史
的分野

ポイント 単元を意識しながら各時間の「学習課題」を解決することで、子どもたちは単元を貫く問いに迫っていくことができます。例えば、歴史的分野の大きな目標に、「時代を大観し、時代の特色をつかむことがあります。子どもたちは、時代の特色について、前の時代から何がどのように変化したのか、原因は何か、時代にどのような影響を及ぼしたのか、説明することが求められます。そこで、子どもたちが時代の特色を説明するにあたり、必要な情報、資料は何かを、各時間の学習を積み重ねることから明らかにできるように、各時間の授業の展開を考えてみましょう。

第5編第1章 日本国憲法

第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き

第5節の問い 長崎改正、日清・日露戦争は、日本にどのような影響をもたらしたのでしょうか。

1 列強の動向とアジア

2 戦争をめぐる対立

3 第5節の問いに答えよう

4 第5節の問いを振り返る

5 第5節の問いを振り返る

6 第5節の問いを振り返る

7 第5節の問いを振り返る

8 第5節の問いを振り返る

9 第5節の問いを振り返る

10 第5節の問いを振り返る

11 第5節の問いを振り返る

12 第5節の問いを振り返る

13 第5節の問いを振り返る

14 第5節の問いを振り返る

15 第5節の問いを振り返る

16 第5節の問いを振り返る

17 第5節の問いを振り返る

18 第5節の問いを振り返る

19 第5節の問いを振り返る

20 第5節の問いを振り返る

21 第5節の問いを振り返る

22 第5節の問いを振り返る

23 第5節の問いを振り返る

24 第5節の問いを振り返る

25 第5節の問いを振り返る

26 第5節の問いを振り返る

27 第5節の問いを振り返る

28 第5節の問いを振り返る

29 第5節の問いを振り返る

30 第5節の問いを振り返る

31 第5節の問いを振り返る

32 第5節の問いを振り返る

33 第5節の問いを振り返る

34 第5節の問いを振り返る

35 第5節の問いを振り返る

36 第5節の問いを振り返る

37 第5節の問いを振り返る

38 第5節の問いを振り返る

39 第5節の問いを振り返る

40 第5節の問いを振り返る

41 第5節の問いを振り返る

42 第5節の問いを振り返る

43 第5節の問いを振り返る

44 第5節の問いを振り返る

45 第5節の問いを振り返る

46 第5節の問いを振り返る

47 第5節の問いを振り返る

48 第5節の問いを振り返る

49 第5節の問いを振り返る

50 第5節の問いを振り返る

51 第5節の問いを振り返る

52 第5節の問いを振り返る

53 第5節の問いを振り返る

54 第5節の問いを振り返る

55 第5節の問いを振り返る

56 第5節の問いを振り返る

57 第5節の問いを振り返る

58 第5節の問いを振り返る

59 第5節の問いを振り返る

60 第5節の問いを振り返る

61 第5節の問いを振り返る

62 第5節の問いを振り返る

63 第5節の問いを振り返る

64 第5節の問いを振り返る

65 第5節の問いを振り返る

66 第5節の問いを振り返る

67 第5節の問いを振り返る

68 第5節の問いを振り返る

69 第5節の問いを振り返る

70 第5節の問いを振り返る

71 第5節の問いを振り返る

72 第5節の問いを振り返る

73 第5節の問いを振り返る

74 第5節の問いを振り返る

75 第5節の問いを振り返る

76 第5節の問いを振り返る

77 第5節の問いを振り返る

78 第5節の問いを振り返る

79 第5節の問いを振り返る

80 第5節の問いを振り返る

81 第5節の問いを振り返る

82 第5節の問いを振り返る

83 第5節の問いを振り返る

84 第5節の問いを振り返る

85 第5節の問いを振り返る

86 第5節の問いを振り返る

87 第5節の問いを振り返る

88 第5節の問いを振り返る

89 第5節の問いを振り返る

90 第5節の問いを振り返る

91 第5節の問いを振り返る

92 第5節の問いを振り返る

93 第5節の問いを振り返る

94 第5節の問いを振り返る

95 第5節の問いを振り返る

96 第5節の問いを振り返る

97 第5節の問いを振り返る

98 第5節の問いを振り返る

99 第5節の問いを振り返る

100 第5節の問いを振り返る

▲教科書 歴史 P.154~155 第5編第1章「学習のはじめに」

▲デジタルコンテンツ 歴史「ポートフォリオ(第5編第1章第1節)」

▲教科書 歴史 P.196~197 第5編第1章第5節①

授業を構想するステップを具体化する(2)

地理的分野

第3編第3章第3節 近畿地方－歴史的背景をテーマに－

学習の流れ 「州・地方のあらましをつかむ」→「問いを立て、学習を見通す」→「問いを追究する(問いに迫る)」→「まとめ、振り返る」



諸地域学習(第2編第2章・第3編第3章)の各節では、導入ページで子どもたちが自ら単元を貫く問いと、それを解決するための問いを立てて学習を見通し、単元を通して問いを追究します。

1 単元ごとに目標(何ができればよいのか)を設定し、評価したいこととその方法を定める。

2 単元ごとに、目標を達成するために何を学ぶのか(何で学ぶのか)を概観し、単元を貫く問いを設定する。また、問いに対するB基準の解答例を準備する。

3 単元ごとに、「単元の学習を見通す(導入ページ)」「単元を意識し、問いに迫る(本文ページ)」「自分の言葉でまとめ、単元を振り返る(まとめ・振り返りページ)」の学習のプロセスをつくる。

4 単元を構成する「各時間の授業の展開」について、教科書(デジタル教科書)で構想する。
※ GIGA 端末を使った自由進度学習で個別最適な学びを見通す。

写真で見る近畿地方

①近畿地方の自然環境と人々のかわり
持続可能な地域をめざして－歴史を大切に近畿地方の地域づくり－
節の問いを立てよう 近畿地方

②現在にいづく歴史的都市の特色
③港町から世界へ
④伝統を生かした産業と世界進出
⑤歴史を未来へつなぐ取り組み
まとめとふり返り 近畿地方の学習をまとめよう

【写真ページ】
【本文ページ(大観)】
【導入ページ】
【本文ページ(追究)】
【本文ページ(追究)】
【本文ページ(追究)】
【本文ページ(追究)】
【まとめ・ふり返りページ】

教材研究 諸地域学習 各節の単元構造

学習指導要領・学習指導要領解説の求めに対応し、州・地方の地域的特色の習得を確かなものにするため、各節を以下のような構造にしています。

第1・第2見開き……州・地方を大観する
第3見開き……既習の知識を生かして単元を貫く問いを立てる
第4見開き以降……州・地方の地域的特色を追究する最終見開き……単元を貫く問いを解決する

▲教科書 地理 第3編第3章第3節 各時間のタイトル

まとめとふり返り 近畿地方の学習をまとめよう

第3節の問い 近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

議論してみよう 体験を重視した観光ツアーを企画しよう

グループごとに近畿地方の1県を選んで、案内をめぐり2日2日の観光ツアーを企画しよう。教科書や地図を参照したり、インターネットで検索したりして、地域の特色の理解につながるような「その場所ならではの体験」を盛りこみましょう。

クラスで、各グループが立てた観光ツアーを発表(プレゼンテーション)しましょう。どのような体験を盛りこめたのかの特色が理解できるか、意見交換しましょう。

▲教科書 地理 P.216～217 第3編第3章第3節「まとめとふり返り」

この章で主に働かせる見方・考え方

④地域どうしのつながり ⑤地域

▲教科書 地理 P.168 第3編第3章 「主に働かせる見方・考え方」

自分の考えをまとめよう

自分の考えをまとめよう。マインドマップを作成して近畿地方の歴史的背景を整理し、近畿地方ならではの地域的特色の理解を深めよう。近畿地方の人々の生活や文化を体験することで、地域の特色をより深く理解することができるでしょう。

① 9時 食料品店を巡る

② 10時 みなべ町で体験しよう

③ 11時 紀伊半島の歴史をたどる

④ 12時 近畿地方の歴史をたどる

⑤ 13時 近畿地方の歴史をたどる

⑥ 14時 近畿地方の歴史をたどる

⑦ 15時 近畿地方の歴史をたどる

⑧ 16時 近畿地方の歴史をたどる

⑨ 17時 近畿地方の歴史をたどる

⑩ 18時 近畿地方の歴史をたどる

▲教科書 地理 P.217 第3編第3章第3節「まとめとふり返り」

教材研究 議論してみよう(パフォーマンス課題)

「まとめ・ふり返りページ」の「議論してみよう」で、地球的課題や地域の課題に対する自分の考えを述べるために、**学んだことを使えるようになることがゴール**です。そのために授業を組み立てましょう。地球的課題や地域の課題の解決策について、**どのように説明・構想できるかが評価の基準**となります。

指導書 「まとめ・ふり返りページ」の本時の目標のほか、**評価規準例なども確認**しましょう。

CO 本時の視点

近畿地方の人々は地域の歴史を活用しながら生活し、産業を発展させてきた。歴史的背景を考察の仕方とした近畿地方の学習のまとめとして、マインドマップを作って近畿地方の地域的特色を整理させ、近畿地方の地域の課題である「歴史的背景と人々の生活の両立」について考察させたい。

本時の目標

- 近畿地方の地域的特色を整理し、歴史的背景と人々の生活の両立について多面的・多角的に考察する。
- 単元全体の自己学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。

評価規準例

思考・判断・表現 ④
近畿地方では歴史的背景と人々の生活をどのように両立させているか、多面的・多角的に考察している。主体的に学習に取り組む態度 ④★
近畿地方における自己学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。

▲教科書 地理 学習指導編 P.324 第3編第3章第3節「まとめとふり返り」

議論してみよう

第2編第2章第1節	アジアの課題をどう解決する？	61
第2編第2章第2節	離脱前と離脱後のイギリスの人々の声を聞いて判断しよう	77
第2編第2章第3節	自立のための取り組みの優先順位をグループで話し合おう	89
第2編第2章第4節	大量生産・大量消費の生活を維持する？しない？	105
第2編第2章第5節	あなたの考える多文化社会って？	117
第2編第2章第6節	さまざまな立場の人々と熱帯雨林を守る方法を考えよう	129

▼教科書 地理 巻頭9 第2編第2章・第3編第3章各節の「議論してみよう」のタイトル

第3編第3章第1節	環境保全と観光業を両立させよう	185
第3編第3章第2節	四国新幹線の整備について考えよう	201
第3編第3章第3節	体験を重視した観光ツアーを企画しよう	217
第3編第3章第4節	産業の競争力を維持する方法を考えよう	233
第3編第3章第5節	東京への一極集中についてディベートしよう	249
第3編第3章第6節	これから10年間の復興計画を考えよう	265
第3編第3章第7節	持続可能な地域の在り方を考えよう	281

近畿地方

▲教科書 地理 P.202 第3編第3章第3節「写真で見る近畿地方」

▲教科書 地理 P.204 第3編第3章第3節①

コンテンツ 地理「イントロダクションムービー(第3編第3章第3節)」

▲教科書 地理 P.217 第3編第3章第3節「まとめとふり返り」

「節」の導入ページで問いを立てる

まず、「大観ページ」で、様々な写真や地図・グラフなどを用いて、**州・地方の地域的特色を大観**します。

次に、「大観ページ」・「導入ページ」で気付いたことを出し合う中で、**①「どのような」特色があるかを考え、単元を貫く問いを立てます。**

次に、この問いを解決するために、**②「なぜ」を用いた問いを立てます。**「大観ページ」・「導入ページ」・「イントロダクションムービー」、さらに第4見開き以降の本文や資料も参考に、特色を明らかにするために**子どもたちが立てると考えられる問いを予想し、学習のプロセスを見通します。**

比較

▲教科書 地理 P.207 第3編第3章第3節「節の問いを立てよう」

① 第3節の問い 近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

② 節の問いを解決するために 例を参考に、「なぜ」を用いた問いを立てましょう。

【例】近畿地方では、なぜ歴史的景観の保全がはかられているのでしょうか。近畿地方では、

問いを立てる 子どもたちが立てると考えられる「なぜ」問いの例

近畿地方には、なぜ多くの観光客が集まるのでしょうか。近畿地方には、なぜ歴史的建造物が多いのでしょうか。

学習課題

- 近畿地方の自然環境や人々の生活には、どのような特色がみられるのでしょうか。
- 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。
- 近畿地方は、歴史的に世界とどのような結びつきをもってきたのでしょうか。
- 歴史や伝統を生かした産業から、新たな技術がどのように生まれてきたのでしょうか。
- 近畿地方では、歴史的な景観や文化財の保全と観光をどう両立させているのでしょうか。

▲教科書 地理 第3編第3章第3節 各時間の「学習課題」

言語活動 理由を問い返す

「○○のような特色がみられたのはなぜ？」のように、子どもたちが見出した問いの答えについて理由を問い返すことで、学習をより深く、より多面的なものにしていきます。

地方別の重要文化財の数 (文化財指定等の件数) 2022年

▲教科書 地理 P.205 第3編第3章第3節① 本文ページ(大観)
▲教科書 地理 P.208 第3編第3章第3節③ 本文ページ(追究)

問いに迫る GIGA 端末を使った自由進度学習で個別最適な学びを

問いに迫る方法や順序を**子どもたち自身が計画**し、より個性的な追究を目指します。そして、**相互評価や自己評価を取り入れ、教科書を縦横無尽にめぐりながら、単元を貫く問いの答えに迫ります。**教科書 QR コンテンツ・デジタル教科書に収録しているポートフォリオを活用し、タブレット端末を使って学びを記録することも有効です。

ポートフォリオ ポートフォリオを活用し、「確認」「表現」の言語活動、読み取り・解釈などの活動を行うことができます。

2現在にいづく歴史的都市の特色 (教科書 P.204)

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

確認 京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

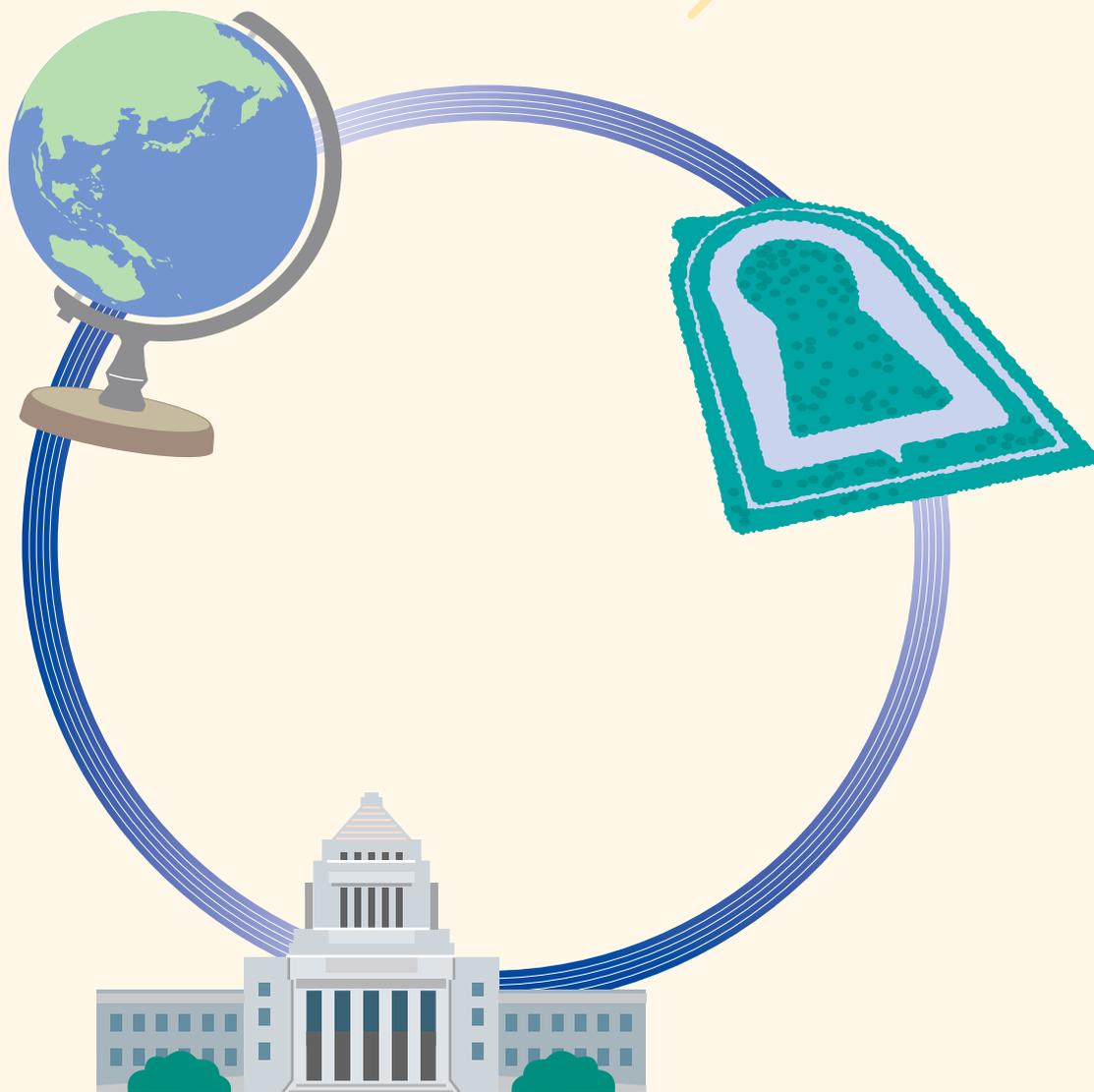
京都…日本で最も長い間首都であった都市。日本の伝統文化が育まれ、茶道、華道、和食、和菓子、織物の伝統を守り、未来へ伝えようとしている店(企業)も多い。

表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

▲デジタルコンテンツ 地理「ポートフォリオ(第3編第3章第3節)」

個別最適な学びは、個人がただ自由に取り組むのではなく、**学習課題をミッションとして一つ一つ乗り越えていくように仕掛ける**ことが大切です。





新しい授業のための『中学社会』 教科書ガイドブック

日文教授用資料 [中学校社会]
令和7年(2025年)4月30日発行

編集・発行人 佐々木 秀樹

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL: 06-6692-1261
FAX: 06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33761

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似 9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690